

◎ 飾り牛飼育団体



杉原牧場（安芸高田市美土里町）
壬生の花田植に出演

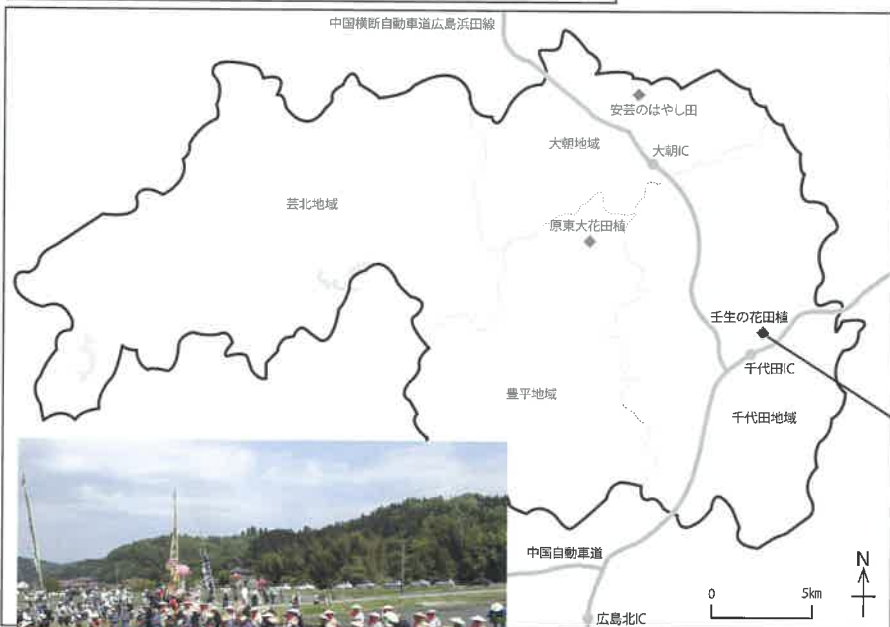
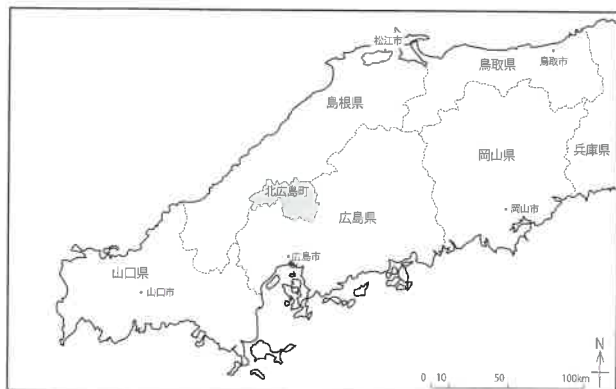


大朝飾り牛保存会（事務局：北広島町大朝）
新庄のはやし田、原東大花田植、壬生の花田植に出演



森下牧場（北広島町丁保余原）
壬生の花田植に出演

◎ 北広島町内の花田植（公開案内）



● 原東大花田植
（原東田ばやし保存会）
公開日：毎年5月第3日曜日
場 所：北広島町志路原



● 新庄のはやし田（新庄郷土芸術保存会）
国指定重要無形民俗文化財（「安芸のはやし田」）
公開日：毎年5月第2日曜日
場 所：北広島町大朝 鳴滝溪谷入口にて



● 壬生の花田植（壬生の花田植保存会）
ユネスコ無形文化遺産、国指定重要無形民俗文化財
公開日：毎年6月第1日曜日
場 所：北広島町壬生 壬生商店街・花田植会場にて

北広島町の 花田植と飾り牛



◎ お問い合わせ

北広島町文化遺産保存活用実行委員会（北広島町教育委員会生涯学習課） TEL 050-5812-1864
芸北民俗芸能保存伝承館 TEL 050-5812-5088
〒731-1533 広島県山県郡北広島町有田1234



平成 26～28 年度にかけて「壬生の花田植調査事業」（文化庁補助）を実施し、ユネスコ無形文化遺産「壬生の花田植」を中心に町域の花田植について『壬生の花田植現況調査報告書』（平成 29 年 3 月発行）としてまとめました。本リーフレットではそれらの成果の一部である「飾り牛」についてご紹介します。

◎ 飾り牛とは

北広島町域の花田植では、華やかな飾り付けをした黒毛和牛が田で代かきを行います。その牛のことを「飾り牛」といい、追い綱を振って飾り牛を操る人間のことを「追い手」といいます。牛のハナグリに追い綱を通し、追い手が後方から綱を振ったり掛け声をかけたりすることで、牛を操ります。

◎ 牛の飾り付け

花田植では田に入る人間だけでなく牛も着飾ります。北広島町域の花田植に登場する飾り牛は、飾り付けが大変華やかなことに特徴があります。花田植当日は、午前中に会場で牛の飾り付けの様子を見学することも可能です。

◎ 飾り付けの順序

飾り牛の飾り付けは、大まかに①頭の飾り、②背中への飾り、③帯や綱の順で装着します。④轍は出発直前に鞍の上に立てます。飾り付けの順序や方法は明確な決まりがあるわけではなく、個々の追い手によって異なります。

① 頭の飾り



例：森下牧場

アゲツナを巻く

クビタマを付ける

② 背中の飾り



鞍下ぶとん

飾り鞍

せなぶとん

例：杉原牧場

輪袈裟

せなぶとん

③ 帯の飾り

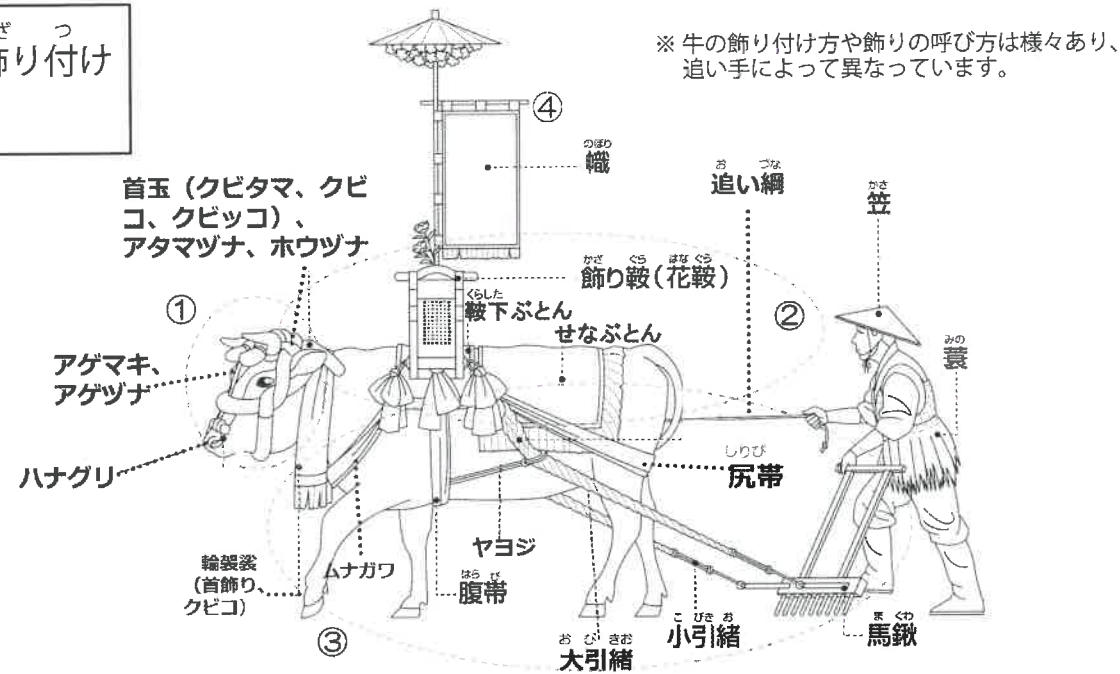


腹帯（ハラビ）

尻帯（シリビ）

例：大朝飾り牛保存会

うし かざ つ 牛の飾り付け 図解



うし あたま 牛の頭に かざ つける飾り

（飾りの呼び方は様々あり、追い手によって異なります。）



かざ
飾り
（花飾りなどを額に付ける）

さんかくけい
三角形の布飾り
（仏具の打ち敷きを利用）

アゲマキ
（または「アゲツナ」ともいう）

くびこ
首玉（クビコ、クビッコ、クビタマなどと発音する）
アタマツナやホウツナともいう。

わげき
輪袈裟
（または「首かざり」ともいう）